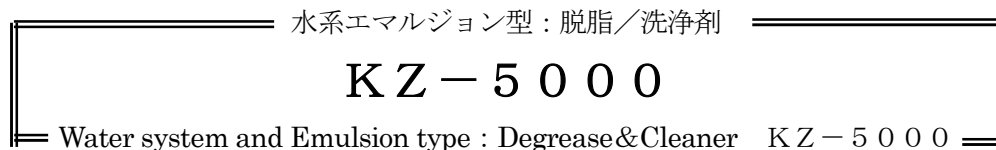


[コード:020058**]



1. ”KZ-5000”の特徴

- (1) 洗浄剤は、油性汚れを浮上り分離させることによって、長時間、補給一連続使用出来ます。
- (2) トリクレン等とほぼ同等の脱脂力を持ち、毒性・危険性がありませんので、トリクレン等塩素系溶剤の“代替洗浄剤”としても有効です。
- (3) あらゆる素材に適用でき、素材表面を侵しません。
- (4) 希釈して使用でき、且つ常温（～45℃）から使用できますので、非常に経済的です。
- (5) 水洗性が非常によく、汚れを表面に残しませんので、洗浄後の塗装やめっきに対しての密着性が良好です。

2. 適用範囲

- (1) 鉄、非鉄金属(亜鉛が除外)、銅及び銅合金、アルミ・・・他)、プラスチック、ガラス、ゴム等に付着した手垢、動植物性油脂、鉱油、グリース手垢などの除去及び洗浄。
- (2) トリクレン蒸気洗浄を行っていた用途の大部分に適用できます。
- (3) プラスチック素材上のめっきの前処理（指紋除去、洗面剤として）。
- (4) 化成処理、めっき、塗装の前処理として。

3. 使用方法

(1) 液組成及び処理条件

	浸漬脱脂	トリクレン代用	陰極電解脱脂
KZ-5000	3～5%容量	5～15%容量	2～5%容量
苛性ソーダ(NaOH)	-----	-----	20～40g/L
処理時間	1～5分	3～15分	1～2分
温度	常温～40℃	40～45℃>	常温～40℃
攪拌	品物の揺動、ポンプによる液流動、超音波・・・等		なし

注1) 温度は高い方が洗浄効果は優れていますが、50℃以上にならないように管理して下さい。
40～45℃ぐらいが最も効果的です。

注2) 攪拌に超音波を併用する場合は、上記濃度の1/3～1/5程度で十分です。

(2) 補給方法、洗浄後のリンス

- 液面に油が浮いて脱脂／洗浄効果が悪くなった場合に、上澄みの油層を汲み出し、その減量分を新液（KZ-5000原液）で補給調整すれば十分です。
- (処理する品物の汚れ状態、汚れの種類、品物の材質及び形状等によって異なりますが)
KZ-5000原液：1Lで、約20㎡～それ以上の面積を処理することが可能です。
- ◎ [洗浄後のリンス] 洗浄後のワークのリンスには、イオン交換水が適しています。又鉄鋼でサビ発生の可能性があるワークを洗浄する場合には、リンス液に“防錆剤：KPC-N”を5～10ml/L添加します。KPC-Nは“KZ-5000洗浄液”へ持ち込まれても洗浄効果には影響ありません。
※防錆剤：KPC-Nはアルカリ性ですので、KPC-Nの持込によってアルカリ度が若干高くなります。

4. KZ-5000の液管理法

- (1) 洗浄剤濃度5%水溶液で、45～50℃の温度で、(汚れの種類にもよりますが) 通常の油性汚れ2～3mL/Lを乳化させる能力があります。それ以上混入しますと、油性汚れは液面に浮上しますので、液面上は清浄に保つように“オーバーフロー”して浮上油を除去して下さい。
- (2) 洗浄剤の補給の、目安の測り方。
 - ① 300mLのコニカルビーカーに、洗浄液を一定量(250mL)採取し、70℃(～72℃)に加熱して一晩放置する。
 - ② 「洗浄剤の有効成分はビーカーの底に寒天状」に溜まり、油性汚れ及び油性汚れと乳化した洗浄剤成分(消耗成分)は、液表面に浮上して洗浄液部分は殆ど透明になります。
 - ③ 別のコニカルビーカーにて、2%、4%、6%、10%等の洗浄剤の基準液を「250mL」作り、上記と同様70℃に加熱し一晩放置したものの「寒天状の量」を、「②の使用液の寒天状の量」と比較し、不足有効成分(洗浄剤原液)を補充する。
 - ④ 又、一晩放置した洗浄液を攪拌棒にて攪拌した時に、底部(下)から濁ってきた時は有効成分が残っている場合ですので、洗浄剤原液を1%程度補給して下さい。上から濁ってきた時には有効成分は殆どなくなっている状態ですので、3～5%(又は建浴量)補給して下さい。
※その他、洗浄剤管理上の不明点がありましたら当社各営業所までお問い合わせください。
- (3) 浮上した油性汚れ、及び油性汚れと乳化した洗浄剤成分(消耗成分)は、オイルコレクター&オイルスキマー、オイル吸着マット等で除去して下さい。
特に消耗有効成分(乳化成分)も出来るだけ除去して下さい。消耗成分は水に溶けますので排水のCOD、BOD、ノルマルヘキサンの抽出量の数値を上げることになります。

【効果的な、「油性汚れ」と「油性汚れと乳化した洗浄剤成分(消耗成分)」の除去方法】

洗浄液を70℃(～72℃)に加温した後、加温を止めて一晩静置しますと液表面に浮上しますのでよく除去出来ます。

そのまま攪拌しますと再び洗浄液中に乳化しますので、必ず静置状態で除去して下さい。

除去後、洗浄液をポンプ等で攪拌しますと清浄な洗浄液が再生できます。不足分の洗浄剤原液を補給することによって建浴時に近い洗浄力に回復致します。この操作を繰り返すことによって長期間の連続使用が可能になります。

5. 取り扱い上の注意

- (1) “KZ-5000”は、お取り扱い前に「MSDS」をよく読んでご使用ください。
- (2) 油種類に対する洗浄性、洗浄設備等につきましては、弊社までお問い合わせください。

《参考資料：KZ-5000の物性》

外 観	乳白色液体
比 重	≒1.02
pH	10±0.5 (1%水溶液、25℃)
引火性	なし
BOD	0.2mg/mL
COD Mn	71mg/mL
窒素	窒素：なし